

環境経営レポート

(令和5年7月～令和6年6月)

令和6年6月30日

共同ハウジング株式会社

目 次

1.	環境経営方針	P 1
2.	組織の概要	P 2
3.	事業の規模	P 3
4.	対象範囲	P 3
5.	エコアクション2.1管理体制図	P 4
6.	環境経営目標	P 5
7.	環境経営目標の実績	P 5
8.	環境経営計画	P 6
9.	環境経営計画取組結果とその評価	P 6
10.	次年度への取り組み	P 7-P 8
11.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	P 9-P 10
12.	代表者による全体評価と見直し・指示	P 11

1. 共同ハウジング株式会社

環境経営方針

<理念>

当社は、神奈川県を中心として公共工事、医療機関施設、一般住宅等の建設工事に従事しています。当社が事業活動を行うことで環境に様々な負荷をかけていることを自覚し、全社員で環境問題についての理解を深めていきます。

また当社が業務を通じて、環境負荷を軽減できるようなエコアクション21環境システムを構築・運用します。

<方針>

環境への取組を進めるため、以下の事項について取り組みます。

- ① 当社が遵守すべき環境関連法規や条例等を明らかにし、これを遵守します。
- ② 環境負荷の削減のため、環境目標を定め、定期的に見直します。
- ③ 事業活動に伴う環境負荷の削減のため、以下の活動を実施します。
 - 1) 全事業における環境負荷の削減
節水・節電・廃棄物の削減に努めます。
 - 2) 工事車両を含む全車両での燃料の使用量の削減を実施します。
 - 3) 建設現場での廃棄物のリサイクル化を徹底します。
 - 4) 建材の全面的4スター化による環境配慮に努めると共に、
グリーン購入に努めます。
- ④ 全従業員に環境経営方針を周知徹底します。
- ⑤ 環境経営の継続的改善を誓約する。

制定日 2012年10月25日

改定日 2021年 9月16日

共同ハウジング株式会社
代表取締役 中原貴志

2. 組織の概要

【事業所名】 共同ハウジング株式会社

【代表者氏名】 代表取締役 中原 貴志

【設立年月日】 昭和50年10月3日

【所在地】

本社 〒252-0303
神奈川県相模原市南区相模大野6-10-7

【環境管理責任者・担当者及び連絡先】

環境管理責任者 取締役 八代 環

連絡先 〒252-0303

神奈川県相模原市南区相模大野6-10-7

TEL 042-744-0501

FAX 042-748-2441

E-mail info@kyodo-h.co.jp

【事業活動の概要】 総合建設業

(個人住宅・施設、法人施設等の設計から施工、公共工事の施工、不動産業務)

【エコアクション21認証・登録の対象及び組織】

本社及び全工事

【建設業許可番号】 神奈川県知事許可 第21386号

令和2年8月25日から令和7年8月24日

3. 【事業の規模】

令和5年7月から令和6年6月

売上高 348百万円

工事件数 12件

従業員数 10名

事業所面積 80.75㎡

4. 対象範囲

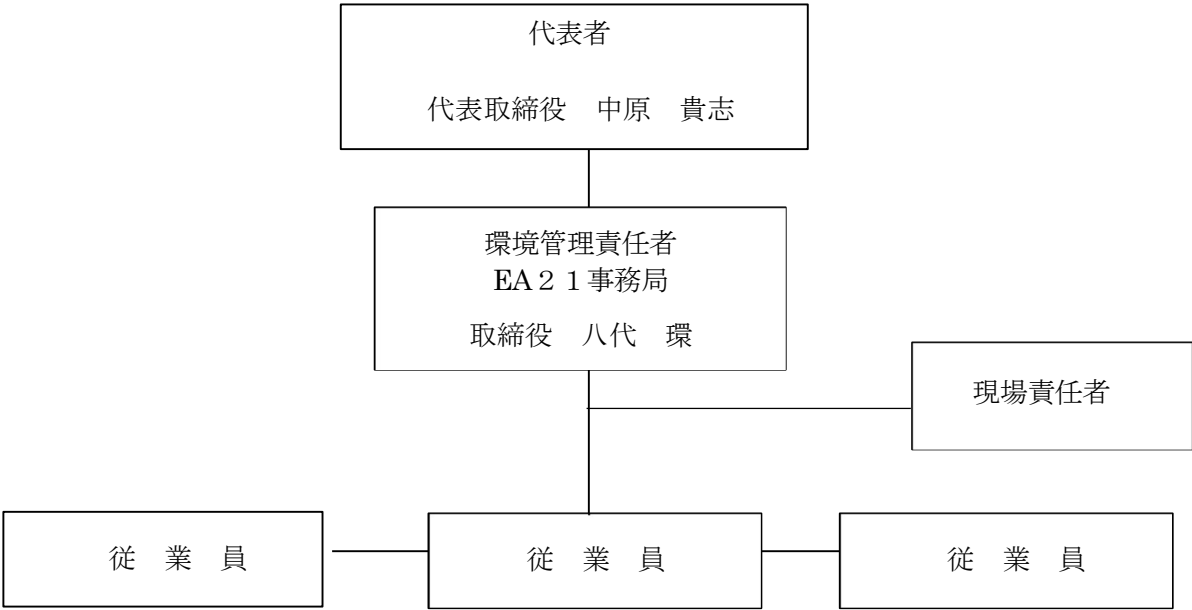
【対象範囲】 全組織（本社）

全活動（建築工事業、土木工事業）

全従業員（10名）

5. エコアクション21環境管理体制図

環境管理体制組織図



役 職	責任及び権限
代表取締役	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境管理システムの実施及び管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画、実施 4. 環境関連法規の取りまとめ票の維持、管理、遵守徹底 5. 環境関連文書及び記録の作成、整理
現場責任者	1. 建設現場での資源の分別化の管理 2. 関連企業への指導、教育、協力体制の構築 3. 現場での緊急時の対応
従業員	1. 決められた環境活動を積極的に行動し実施する。 2. 環境経営方針の遵守

6. 環境経営目標 7. 環境経営目標の実績

○：達成 ×：未達成

目 標		基準年 (2012年)	目 標 (1%削減)				
			2023目標	2023実績	評価	中長期目標	
		① 2012年度一年間	2023年7月 ～ 2024年6月	2023年7月 ～ 2024年6月		2024年	2025年
二 酸 化 炭 素 排 出 量	全体の二酸化炭素排出量	14,043.96 (kg-Co2)	16,763※1	10,489.57※1	○	16,595※1	16,430※1
	電気使用量の削減	8062 (kwh)	2,979	3,210	×	2,949	2949
		3,103.87 (kg-Co2)	1,437.696	1,466.97			
	灯油使用量の削減	180 (ℓ)	149	252	×	149	149
		448.54 (kg-Co2)	371.01	627.48			
	ガソリン使用量の削減	4518.99 (ℓ)	5,525	3,596.24	○	5,525	5,460
		10491.55 (kg-Co2)	12818	8,343.28			
	都市ガス使用量の削減 ※①	(m³)	30	24	○	30	30
		0 (kg-Co2)	64.80	51.84			
事業系一般廃棄物の削減		0.2223 (t)	0.204	0.243	×	0.204	0.204
上水の使用量の削減 (m³)		100m³	85	68	○	85	85
G購入品目		3品目	8品目	11品目	○	8品目	8品目
4スター材使用率の向上				100%	○	100%	100%
建設リサイクル率の向上		50%	60%	85%	○	63%	63%
適正な施工計画（工事日数の短縮）			98%	99%	○	98%	98%
地域社会貢献等への参加			3	3	○	3	3

※ 購入電力の排出係数は、東京電力0.457を使用した。 ※①軽油使用料の削減項目を削除し都市ガス使用量の削減を今年度から追記 2018年度排出係数を使用

※ 化学物質については購入時にSDS で管理します。

8. 環境経営計画 9. 環境経営計画取組結果とその評価

環境経営目標 目標値	環境経営計画 施策（取組項目）	年間実績 結果	評価 取組の問題点・原因	是正処置（対策） 次年度の取組
電気使用量の削減	・事務所内の不要照明消灯の徹底 ・PC等の不使用時の電源OFF ・エアコンの適正温度の徹底 （夏期28度、冬期20度）	×	・電気使用量が前年度より増加となった。 ・暑さのため、エアコン稼働時間も要因している。 ・作業時間にばらつきがあったため、照明の使用時間が長かった。	作業の効率化に取組み時間の調整
灯油使用量の削減	・事務所内の温度適正管理の徹底	×	・今冬も気温が低下していたため、暖房時間が長かった。	服装などで調整を行う
ガソリン使用量の削減	・車両の点検整備 ・エコドライブの実施継続 ・燃費管理の徹底継続 ・タイヤの空気圧チェック	○	・車両の適正な空気圧のチェックやエコドライブの実施によりガソリン使用量の削減に努めた結果何目標内の数値となった	・eスタート ・加速・減速の少ない運転 ・不要な荷物を降ろす
都市ガス使用量の削減	・設定温度調整 38℃に設定	○	・例年、大幅な増減はない。	
事業系一般廃棄物量の削減	・再資源化の徹底 ・コピー用紙の裏紙使用	×	・年末に不要書類の廃棄をしたため増加した。 ・社内でペーパーレスを推進している。 ・紙資源の利用を極力控える	・張り紙をするなどして、分別を徹底する・ペーパーレス化に取組む
建設リサイクル率向上 （産業廃棄物の削減）	・社員教育の実施・継続 ・工事内容によってリサイクル率が変動するので数値を把握するよう努める。 ・分別	○	・マニフェスト管理とリサイクルに取り組みが出来た ・工事種別により廃棄物産出が変動するので注意する ・解体共の廃棄物価格を把握した。 ・目標が達成できたので2024年度目標値を63%に設定した。 ・各自が環境負荷削減等の意識を持ち各現場毎に努力が表れた	・電子マニフェストで一括管理できた。
上水の使用量の削減	・節水コマの設置完了 ・毎月の使用量の確認	○	・節水に努める効果が数値に表れた	継続
G購入に積極的に努める	・購入をチェックする	○	・グリーン製品の積極的購入	継続
4スター材使用の向上	・シックハウス対策：全面4スター化に努める ・施工計画時に確認をする	○	・計画前のチェックと施工後の伝票等で確認ができた	継続
適正な施工計画を作成	・工事日数の短縮化	○	・工期短縮の合理化を常に意識を持ち各現場毎に取り組んだ結果が良かった。	引き続き天候を考慮した工程を組む
その他地域・社会貢献等	・環境活動を通じて地域との交流を図る清掃活動事業への参加	○	・コロナの影響は多少あったが活動はできた。	継続

10. 次年度の取組み内容

環境経営目標	取組み内容
電気使用量の削減	2023年度は達成できなかった。電気量が増加したので、以下に取り組む。 作業の効率化に取り組み作業時間を見直す。 休憩時間など不要照明消灯。 エアコンの適正温度の徹底。
灯油使用量の削減	前年より大幅に増加した。引き続き以下の取組みを徹底する。 事務所内の温度適正管理。 服装などの調整。 目標が達成できなかった為、2024年度149L 2025年度149L を引き続き目標値に設定した。
ガソリン使用量の削減	2023年度目標値を達成できたため、以下の取組みを継続する。 低燃費車へ順次移行。 車両の点検。 空気圧チェック。 ガソリン使用量と走行距離管理表の継続 2024年度5525L 2025年度5460L を引き続き目標値に設定した。
都市ガス使用量の削減	今年度より追記項目とし、2024・2025年度中長期目標を30m³とした。 次年度より環境目標管理表にも反映させていく。

事業系一般廃棄物の削減	2023年度目標値を達成できなかった。不要書類の廃棄をしたことが挙げられる。 引き続き以下の取組みを継続する。再資源化の徹底。 紙資源の利用を極力控える。張り紙をするなどして分別の徹底。 2024年度0.204t 引き続き2025年度0.204tを引き続き目標値に設定した。
建設リサイクル向上 (産業廃棄物の削減)	2023年度目標値を達成した。電子マニフェストを導入しており、最終処分までの一括管理ができる。 また、引き続き変動に注視しながら価格の把握をする。 リサイクル向上に向け社員教育の実施を継続。
4 スター材使用の向上	2023年度目標値を達成できているため、引き続き以下に取り組む。 計画前のチェックと施工後の伝票で確認。
上水使用量の削減	2023年度目標値を達成したため、引き続き以下に取り組む。 毎月の使用料の確認。 節水に努める。
G 購入に積極的に努める	2023年度目標値を達成したため、引き続き以下に取り組む。 グリーン購入品目の把握。 グリーン製品の積極的な購入に努める。
適正な施工計画を作成	2023年度は目標値が達成できたため、引き続き以下の取組みとする。可能な限り天候を考慮した工程を組む。各業者との綿密な連携に取り組み工事日数の短縮化。 2024年度98% 2025年度98%を目標値に設定した。
地域社会貢献等への参加	積極的に活動をした。

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認

及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

遵守状況の確認並びに最新版であることの確認日

確認者 八代 環

2024年 6月30日

※ 環境関連法規等の評価結果及び違反、訴訟等の有無については、下表を用いて自己チェックした結果、違反はありませんでした。また、関係当局からの違反の指摘及び訴訟と外部からの苦情は過去5年間ありませんでした。

環境関連法規等一覧（遵守状況は自己チェック）

法規制等の名称	該当する要求事項	関連条項	該当する設備項目の要件
廃棄物処理法 (産業廃棄物)	1. 一般廃棄物収集運搬業者の許可証確認	第7条	一般廃棄物（紙、木くず、生ゴミ等）
	2. 産業廃棄物収集処理業者との契約、許可証写しの保管	法第12条5項及び法第14条第12項、令第6条の2号、規則第8条の4の3	産業廃棄物（金属類、廃プラ類、木製パレット類）
	3. マニフェスト交付	法第12条の3第1～7項、規則第8条の28、29、30	A票、B2、D、E票は5年間保管 D票は90日 E票は180日以内回収、産業廃棄物管理表交付等状況報告
	4. 適正な保管	法第12条第2項、規則第8条	建設現場での保管場所の掲示 飛散、悪臭防止
廃棄物処理法 (特別管理産業廃棄物)	1. 飛散防止	法第12条の2第2項、規則第8条の13	廃石綿
	2. 許可を受けた者への委託	法第12条の2第5項又は法第14条の4第12項	特管産廃運搬・処分
建設リサイクル法	解体工事等必要な報告	第18条	報告の有無
騒音規制法	特定建設作業を伴う建設工事	第14条	市町村長への提出
毒物及び劇物取締法	適正な保管	第11条 第16条2項	・毒劇物の保管庫への保管 ・飛散・漏れ・流失・盗難・紛失した場合の提出
相模原市火災予防条例	危険物の取扱と保管	第31条	危険物貯蔵にあたり貯蔵取扱い箇所において管理・清掃・火気をみだりに使用せず、容器に収納して貯蔵する

相模原市廃棄物の減量化・資源化及び適正処理等の推進に関する条例	1. 事業系廃棄物の減量化・資源化	第6,9,10条	廃棄物の減量・再利用による資源化
相模原市廃棄物の減量化・資源化及び適正処理等の推進に関する条例	2. 保管場所の設置	第13条	廃棄物の保管場所の設置
	3. 自己処理の基準	第25条	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の基準に従う。
	4. 実地確認	第29条	産業廃棄物処理業者への委託内容の実地確認を行う。
省エネ法	エネルギーの使用の合理化	第17条 20の2	特定建築物の新築・増築・改築
フロン排出抑制法	1. エアコンフィルター 清掃 2. 簡易点検	第16条	事務所用エアコン

1 2. 代表者による全体評価と見直しの結果・指示

【1】

①未達成の項目を見ると、「灯油使用量の削減」については、今年度も目標値を達成できなかった。2024年度は温度調整や使用時間などを意識し削減に取り組むように指示した。目標値は引き続き2024年度149Lとした。

②「事業系一般廃棄物の削減」項目では目標値を達成できなかった。一般廃棄物（紙類）が増加していた。紙の出力を最小限にし、データーで管理するように努めるように指示した。

③「電気使用量の削減」については、今年度は目標値を達成できなかった。エアコン使用が大きな要因ではあるが、使用時間の見直しをするよう指示をした。

【2】

達成項目では①「ガソリン使用量の削減」についてはガソリン使用量管理表で管理意識を高めている結果達成できた。

②「地域社会貢献等の参加の実施」では未だコロナの影響がありながらも活動ができた。③建設リサイクル向上では85パーセントと大幅に目標値を達成できた。当社の電子マニフェスト導入に伴い協力会社共に、電子化を実現し最終処分までを一括管理できる事は大きな取り組みであった。

④「上水の使用量削減」は全員が節水の意識に取り組むことにより削減に繋げることが出来た。

E A 2 1 活動に取り組むはじめてから、12年が経過した結果、成果が数字であらわれるような体制を構築できたことは、評価できる。引き続き未達成の項目も数値化することで今後の課題が明確に判断でき、改善点を把握できるので、引き続き継続して取組んでいきたい。

令和6年6月30日

代表取締役 中原 貴志